

◆ はじめに ◆

中国語は一見、日本語と同じ漢字を使い、日本人には馴染みやすい言語に見えますが、実際に学習してみると、中国語の持つ独特の発音、イントネーションを完璧に習得するのはかなり困難なので、「中国語は難しい」とよく言われます。しかし、範囲を限定し集中して学習すれば、短期間で「話を通じて、用が足せる」という一定の言語能力の習得は可能です。

本テキストは出張、短期滞在等で遭遇するビジネス・シーン及び基本会話などを項目別にまとめ、『とにかく今すぐ少しでも中国語を覚えておきたい!』という方のために編集しました。日本人の入門者の方が「楽しく学べて、すぐに使える」中国語を学習していただくため、以下のような中国語表現を厳選しています。

- ①使用頻度が高く、応用範囲が広い言葉や表現
- ②できるだけ日本人に言いやすい言葉、表現、抑揚
- ③短く、洗練されたセンテンス

また、中国人の方々とのビジネスコミュニケーションのなかで必要となる、中国人の考え方、価値観、文化、歴史、社会的風潮等、知っておかなければならない知識をコラムにまとめました。

そして、難しいからと敬遠されがちな基本的な発音も簡単に分かりやすく説明し、初心者でも正しい中国語が短期間で習得できるように工夫されています。

中国語の発音表記は正確な発音が得られるように「ピンイン」（中国語のローマ字表記）を使っています。

なお、テキストの中の **CD** マークは、CDのトラック・ナンバーを示しています。聞きたいところへ“ランダム・アクセス”してください。

このテキストを通して中国語をマスターし、ビジネスの幅を広げましょう。中国語を楽しみながら、最後までがんばって学習されることを祈っております。

著者

(1ヵ月め)

第一章 中国語を話してみよう	7
中国語学習をはじめる前に	8
中国語が話せるようになるコツ	8
中国には中国語がない?	9
“普通話”って何?	9
中国にも外来語があるの?	10
同じ漢字なのに、意味が違う?	11
中国式ビジネスの注意点	12
中国語ミニ文法	14
話してみよう! すぐに使える簡単中国語	16
発音にチャレンジしてみよう	18
「ピンイン」と「四声」とは何か	18
ピンインにチャレンジしてみよう	20

第二章 すぐに使える基本表現10	25
挨拶のことば	26
お礼とお詫び	28
出会いと別れ	30
確認や質問	32
頼む時と断る時	34
数の言い方	36
時間と期日	38
行き先、場所をたずねる	40
食事のとき	42
値段の言い方	44

(2ヵ月め)

第三章 ビジネスで使える10場面	47
自己紹介	48
ホテルでの表現	50
出迎えと見送り	52
スケジュールとアポイント	54

オフィスでの会話	56
電話の応対	58
会議と朝礼	60
企業視察	62
商談	64
クレーム	66

(3ヵ月め)

第四章 ビジネス後の宴会、パーティを盛り上げる!	69
宴会とパーティーでの会話	70
食事にでかける	74
カラオケで歌う	79

第五章 いざという時役立つ身近な話題&トラブル表現	81
日本を案内する	82
日本料理を堪能してみよう	84
趣味について話す	86
家族について話す	88
天候について話す	90
体調が悪いことを伝える	92
感情を表現することば	94
トラブルが起こったら	95
中国知識あれこれ	97

月落烏啼霜滿天
江楓漁火對愁眠
姑蘇城外寒山寺
夜半鐘聲到客船

第一章

中国語を話してみよう

CD1

fēngqiáo yè hó zhāng jì
楓橋夜泊 張繼

yuè luò wū tí shuāngmǎn tiān
月落烏啼霜滿天

jiāng fēng yú huǒ duì chóu mián
江楓漁火對愁眠

gū sū chéng wài hán shān sì
姑蘇城外寒山寺

yè bàn zhōng shēng dào kè chuán
夜半鐘聲到客船

月が西の山に沈み、烏が啼いて、霜は天に満ちて真っ白である。

川ぞいの楓の葉と、ちらちらとしたいさり火が、旅の夜の寝付かれぬ眼にうつる。

一体いま何刻であろうか、姑蘇の町外れの寒山寺から、

夜半を告げる鐘の音が、自分の寝ている船に響いてきた。



中国語学習をはじめる前に

中国語が話せるようになるコツ

中国語は日本語と同じ漢字で表現する言語であるにも拘わらず、入門者にはかなり難しい印象を与えてしまうようですが、それは何故でしょうか？

学生時代に学習した英語と違い、基礎知識が全くないこと。日本語の漢字と発音や意味が違うこと。イントネーションによって同じ音でも別の意味を持つこと。などなどいろいろありますが、はじめから全てを完璧にしてしまおうというのがそもそもムリなのです。そこで、中国語初心者のみなさんは『とにかく最低限の中国語が話せるコツ』として、以下の4点を意識しながら学習していきましょう。

1. やさしい、短い、言い易いがベスト

やさしい単語を使い、できるだけ短い文で、言いやすい表現で簡潔明瞭に相手に伝えます。

そのためには、よく使う単語、基本的なフレーズ、また、自分に関連する用語などを暗記しておき、自信を持って話しかけるようにしましょう。

2. 一番言い易いものを一つだけ確実に覚える

自分が良く使う分野、表現の中で、自分が一番自然に話せるもの一つ決め、それを確実にマスターし、きちんと相手に伝えられるようにしましょう。欲張らず、一つ出来れば充分です。

3. 分からないときは聞き返す

相手の言っていることは全部分からなくても、相手に確認しながら、場合によっては何回も聞き返し、自分のレベルを理解してもらいながら、単語だけでも、どんどん話していけばきっと分かってくれます。

4. 中国語に慣れること

積極的に中国語、中国関連のものに触れ、「これはなに？ あれは中国語でなんと言うの？」という好奇心と努力を持ち続けられれば、いずれ、生活、ビジネスはもちろん、例えば宴会の時などでも、いろいろな話題についていけるようになり、また、自分からも何か披露できるようになるでしょう。

中国には中国語がない？

これはほんとです！ 中国には“中国語”という言葉はありません。当然、中国語の辞書にも“中国語”という言葉は載っていません。私たちが何気なく“中国語”と言っているものは中国では“汉语”、“中文”^{ハニョウイ、ツォンウオン}とされています。“汉语”はつまり“漢民族の言語”という意味です。中国の広い国土にはモンゴル族、チベット族など55の少数民族が住んでいます。彼らは独自の言語・文化を発達させていますが、総人口の6%を占めるに過ぎないので、少数民族と呼ばれています。そして、残りの94%近くは漢民族です。この漢民族の言語＝漢語が中国を代表する言語、即ち“中文”であり、「中国語」と表現されているのです。もちろん、さらに細かく言えば、上海語とか広東語といった様々な方言を含んでいます。

“普通話”って何？

もちろん、私たちがこれから学ぶのは、上海語や広東語ではありません。中